みいけ

この機關紙は大牟田地區共同編集です

發行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
旋電 528 475 番

編集發行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場

三鑛労組機關紙

さあ メーデーが近いぞ!

お百姓も商工業者も主婦も
生活と平和の　要求でガッチリ團結だ

ビキニの水爆實験は世界の人々に第三次大戦が起れば「全滅戦争となる」ことを敎へた。二十四億の全世界の人口の中九五%以上を占める勤労人民は、この様な無暴な殺リク戦争に反対している、だがアメリカを先頭とする一握の帝國主義者とその手先共は「無一物」になつた地球上に「平和の旗」を建てようと言うバカげた夢を追つている。

日本では政治手段で長い間國民の「血税」をドロボーしていた自由、改進両黨の議員及黨の最高カンブはたび重なるザイ悪がついに發覚し、逮捕寸前にある。

吉田はごういんに、政権を担當すると言つているが、このように昂まつている政府不信の聲の前に、くずれるのは、時間の問題となつている。

政府不信の聲は、たんに「血税」をドロボーしたからではない。根本的には、MSAを受入れて軍備を増強し、そのことによつてアメリカの安全を守り、自らはシコタマ金もうけしようとする政策が、首切り賃下げ、悪税、重税、安い米価小作人イジメの政治等によつて、勞働者、零細商人、中小業者、農民を極度に苦しめ、このことによつてこれ等勤労國民が「吉田政府は自分たちの利益は守つてくれない」と言うことをハツキリ知つたからである。

このことの具体的表れとして、四月十四日大牟田地區中小企業連合会がつくられたが、これは今までのように保守一邊倒の中小業者ではダメだという聲が、連合会結成の發タンになつたのである。又統一メーデーに參加しよう、という大地評の呼びかけに繊維組合は參加を正式に決定した。前記連合会も參加の機運が昂まつている。すわ川流域の農民、市酪牛乳の農民等も參加する。メーデーに結集される『大牟田における勞農市民の団結強化』は、平和と獨立と生活を守るカナメである。

中心スローガン

- ☆MSA再軍備反對、平和憲法を守れ
- ☆ファッショ勢力排除、自由と民主主義を守れ
- ☆首切り賃下げ重税反對、最低賃金制の確立
- ☆原、水爆兵器使用禁止と國際管理の促進

世の中を豊かにする勞働者の斗い

戦後最大の動員
海員、業者 農民など40團體約3万か

再軍備政策によつて苦しめられている労働者、農民、零細商人、中小業者等の団結は、日に日に強くなつている。来るメーデーを「勞農市民の要求統一の場にしよう」という大地評の呼びかけに、大地評未加盟の組合、農民、商人等の團体が早くもメーデー実行委員会に集まつた。

四月十四日開かれた大牟田地區統一メーデー実行委員会には、大地評傘下組合はもとより脱退した海員組合、執行労組も参加を正式回答し、未加盟の全逓、全電報局、全司法、県職筑後支部等の官公庁組合及帝国酸素、日本紙管等の小企業労組等が参加を回答して来た。また繊維業者組合、商工互助会等の商人、スワ川流域の農民、酪農業の農民等も参加を決定した。従つて、政党、文化団体その他を合せれば約四十団体約三万に及び戦後最大の規模におけるメーデーがくり広げられる。

大会は一日午前十時から笹林公園で開催、労働歌〃世界をつなげ花の輪に〃の全員合唱で始まり、スローガン採択、意見發表、抗議文要求書の提案、地方選擧闘争宣言ののち三コースにわかれデモ行進

北京メーデー 代表をおくる

「今年の北京メーデーに、ぜひ代表を」と、中国総工会から総評はじめ、中立組合、産別に招待が来た。十四日、中央のメーデー実行委員会では総評関係十二名、中立組合二名、産別関係四名の代表氏名を一応まとめ、中国総工会に返電、一方外務省に旅券の交渉中である。なお大牟田からも代表を送ろうという声も一部に起つている

五月のうた
出海溪也

たぎりたつ
おれらの想いをこめ
五月の空は
果てもなくひろがる

おゝ　五月
開花の月よ
すみわたつた五月よ
おれたちは
けつして忘れまい
働らくものの五月
血ぬられた五月
シカゴの五月
東京の五月
を
おれたちはけつして忘れまい
八十年まえのシカゴ労働者を
それは
むごたらしい長時間労働
それは
眠る時さえない苦しい労働
〈おれたちに
八時間の労働を
八時間の休息を
八時間の修養を
与えろ!!〉
おゝ　五月一日をめがけて
立ち上つたシカゴの労働者よ
その
一八八六年五月一日
残忍なる官憲どもの
銃口で　ダイナマイトで
血ぬられたシカゴの五月よ
血で闘いとられた五月一日
――それから三十四年
大正九年
二〇〇〇人の集会で始まつた
日本のメーデーよ
……
くらい暗黒があけ
……
ふたたび暗い季節がおとずれ
……
この日　じんみん広場に
したたる血でいろどられた
一九五二年・第23回メーデー
肉をさくコンボーと
火をはくくろい銃口と
針のように刺す催涙ガスと
燃えあがるアメリカ高級車の
黒い煙りの中から
たたかいとられた
自由・独立・平和のメーデー
おゝ
おれたちはけつして忘れまい
働らくものの五月
血であがなわれた五月を
いま
きみらはうたう
五月のうたを
うたえ
うたえ
はたらくものの五月のうた
メーデーのうたを

かつてない盛り上り
東圧、合成スト突入か

現に、三者共闘を進めている合化労運傘下の三染、東圧、合成三労組のうち、一応月給制をかち取つてストを回避した三染労組を除く他の二労組は、それぐかつてない盛上り方を見せ、相互に激励し合いながら闘争を進めているが、中でも東圧労組は、去る廿二日の団交直後いよいよスト通告を発し来る廿三日からストに突入することになつた。

会社は、去る四月三日、賃金平均四三〇円、期末手当手取平均二万一千七百五十二円、結婚資金はゼロ、の回答を出して来た。以後交渉進まず、為に組合は「以後組合からは交渉は申し込まない」と会社側に通告、つとめて三染、三合教育防衛大会への激励デモなどによる大衆的示威行動を組織していた。ところが去る十九日、会社側は期末手当手取平均二万四千八百五十九円を再び出して来たが、賃金、結婚資金にはなお強硬な態度を見せている。

三合労組は又、去る十九日、賃増を九一・八%で、協約を九三・三%で、それぐスト権を確立、闘争宣言を出すまでに至つた。

会社側は、賃増要求に対し、去る十六日定期昇給（平均五三〇円）をもつてスリかえて回答し、又、協約についてはその対案をもつて組合活動の制限（休憩時間に職場常会を開くにも課長の許可がいる）、年次有給休暇の切り下げを目論んで来ている。これがかえつて組合員の憤激を呼び起し、「今度こそ定期昇給などにゴマ化されず徹底的にやるぞ」との声が高い。

もり上り恐れて 會社、値上回答

労組のもり上り恐れ東圧会社は二十二日、賃金平均千三百六円、期手二万五千六百三十六円、結婚資金一万円、同賞与一万円を再回答

國鐵 賃増を要求
職場討議をつみ積ね

国鉄労組は去る十二、三協の両日開かれた中央委員会によつて、来る廿五日に賃増要求を提出することが決定した。

新賃金方式は、現行平均ベース一万五千三百円を二万一千円に引き上げようとするもの。今度の要求決定について、同労組大牟田分会の一執行委員は次のように語つた「今までの要求は、中央委員会でつくつておりましたが、今度はそうでなく職場の要求や不満の中から、充分討議を尽してつくり上げたもので、職階各層別に要求額をきめ、一番下の一号俸五千二百円を七千五百円に、四五号俸（最高俸）三万二千八百円を四万円に引き上げる、という様な方式です」

月給制かち取る
賃増期手　根強い闘いへ（三染）

去る十三日に開かれた三染労組の総会は、既に平和的手段による解決の道が断たれた賃増闘争を、「今直ちにストをもつて闘う」との執行部提案の今後の方針を否決した。この結果当分実力行使は避けることになつたが、同労組はひとまずこの闘いの中から月給制を獲得、本来の賃増闘争は、今後一層「根強い闘争をもつて闘われていく」動きを見せている。なお同労組は期末手当総額一億七千万円（従業員一人概ね二万四千五百円）を要求した。

統一闘争で賃増を
三煉　全鑛連に復歸

去る三月十五日から四日間にわたつて東京で開かれた全鉱連（全日本金属鉱山労働組合連合会）第廿一回定期大会は、現行賃金プラス一律三千円アップの賃増を要求することを決定した。従つてこれに加盟する三池製煉労組は、来る廿七日に会社回答を求めて統一闘争に立ち上るため、目下鋭意闘争態勢を整えている。

もと／＼同労組は、一昨廿七年の賃増闘争の際、要求貫徹方式の違いと闘争計画をズラしたことから事実上統一闘争を困難にした責任を問われることになり、為に一時全鉱連を脱退していた。ところがその後二回の闘争は、企業だけの闘争が如何に弱いものであるかということと、分裂こそ最も悲しまるべきものということを痛切に教えた。その後日を追うて、下から全鉱連への復帰が叫ばれだし、遂に先の三井金属労連大会で正式復帰を決定した。

化學三勞組 けつき大会

要求貫徹のため東洋高圧は二十三日、二十四時間スト、合成労組は同日午后三時から一時間の職場放棄を行い、東洋高圧事務所前広場で共闘総けつき大会を開催、これには三染労組からも激励デモで気勢をあげた。

何をネラウか　政府 日經連
分裂させ組合御用化
再軍備のための耐乏

敵はよく統一されている。経営が苦しい、製品が賣れなくなつた。賃上げはできないと何処の会社でも賃上げ拒否の理由はきまつている。

事實は、炭鉱＝（三井の場合）首切のために三〇〇億円使つたといわれる（賃上げ三〇〇円他に一時金）染料＝今期に四億六千万円儲けている（賃上げはゼロ）東圧＝二十八年上期において約十三億儲けていて回答は賃上げ四百三十円、賞与二万四千円　合成＝今期七千五百万円、しかし一人当りの賃上げ高は東圧より三万円も高い。賃上げの回答は實質的にはゼロ　三煉＝二十八年上期十二億四千万円儲けている。回答はまだゞが、おそらくゼロかゼロに近い回答であろう。

日經連の戦術

以上にのべたようにバク大な儲けをしていながら、闘争で損害を受けても「賃上げしない」という固い申合せを守つていることである。

このことは四月十五日行われた第七回の日経連総会の決議をみてもわかる。たとえばウソも甚しいことだが、前田專務理事は、経済危機の原因は賃金が上昇して来たことにあると、驚くべき「狂言」を行つた。（事實は再軍備政策によるもの）

勞使協調と鬪 を食へ経濟

総会で決定した「当面の難局に処する経営者の見解」では次のことを決定している。

一、安くて良い商品をつくる。そのために資本の蓄積、労務管理の合理化を行う。

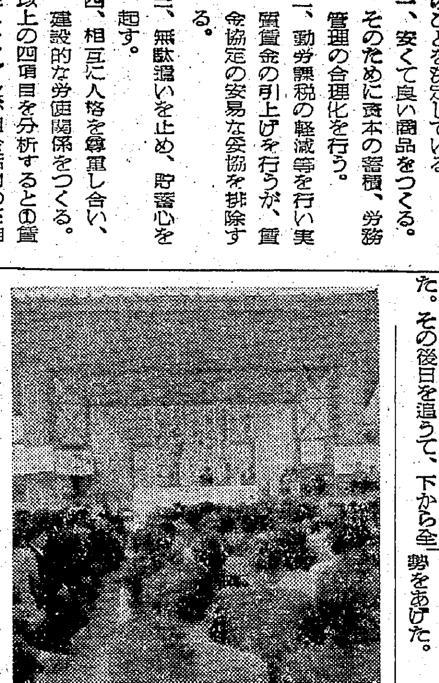
二、勤労課税の軽減等を行い実質賃金の引上げを行うが、賃金協定の安易な妥協を排除する。

三、無駄遣いを止め、貯蓄心を起す。

四、相互に人格を尊重し合い、建設的な労使関係をつくる。

以上の四項目を分析すると①賃金ストップ及び組合活動の圧迫が予想される　②賃金は①と同様勤労課税の軽減は再軍備に反対する勢力でなければできない　③及び④はイワシを食へ!、賃金要求するな!そして労資仲良くしようというのだ。

〃教育を守ろう〃



寫眞は教育防衛大会

大牟田市教職員組合は、去る十五日午後五時から笹林公園の音楽堂で〃第三回教育防衛大会〃を開催、大牟田市を中心として柳河、山門三池各地の諸教員、市内各労組あるいは一般父兄など約千五百名が集り、「あくまでも教育を守つて今後も闘う」ことが誓われた。なお教組では参議院に対しハガキ戦術で撤回要請をやつている。

有利な條件で妥結す
炭勞、電産の勞協闘争

三鑛連

三鉱連の労協闘争は二月五日団交開始以来七十五日目の四月十六日遂に妥結をみた。他社がすべて横滑り、労働基準法も改悪されようとしている折柄、今度の労協闘争は極めて注目され、山元大衆闘争の圧力は遺憾なく発揮され、廿六年締結以来三年間に生じた幾多の矛盾点、悪慣行を引直し、企闘以后の労使間の在り方を規正するという意味で大きな成果をおさめた。その中で特に「市区町村議員、教育委員等を離役とせず、本会議、委員会に出席する場合出勤扱いとし、本人本方の賃金その他の給与を支給する」旨明文化した事は他単産にも好影響を与えよう。今后の労協闘争を考える場合、天下り的な〃基準案闘争〃では到底ダメで大衆が日常現場における闘争をメモ化し具体化して下から積みあげるのでなければならない事が痛感されている。

電産　企業別勞組より有利

労協交渉は、昨年末から中央本部と九州電力と団交を重ね、四月一日附で妥結、近く上京する佐藤社長をまつて正式調印が行われる。協定内容は中国電力会社との協定とほぼ同一で十二月三十日を休日とする外、会社が日経連七原則に則つてシツヨウに迫つた平和条項並に組合活動の圧迫等の条項を、すべて撤回させ、団交、苦情処理、経協採用、解散、異動、組合の確認等についても現行通りとし更に電気連合会への委任問題、組合中央本部と会社との交渉場所は東京部となつている。

以上は労働条件の向上を方針としながら、労協関係交渉で、交渉らしい交渉もせず電産の交渉に水をさしてきた企業別労組の東電、関西、北海道、東北等の第二組合の締結内容よりはるかに有利であり九州における第二、第三組合も、我々と同様の内容をもつて協定する事になろう。が、これは一体誰が闘い、誰の努力になるものか!!彼等自らもよく／＼反省すべき事ではなかろうか。

國鐵　官憲の彈壓
青年部が抗議

国鉄労組のもり上がりをおそれ、正当な組合活動に、またもや官憲の不当介入がなされている。すなわち三月の闘争中、熊本駅にはられたビラを同駅長、主席助役がはぎとつたことから組合員数十名が追及した。これに対し四月九日熊本市警が「暴力行為」として九名の組合員に対し出頭を命じたものである。国鉄熊本青年部では「官憲の不当弾圧である」と断定五十名が八日、南署へデモし署長に厳重抗議した。

御買物はチケツトで
家具のデパート
大牟田専門（專）店会加盟店
松永家具店
大牟田市元町上官通入口　電話三八六三番
【御指定】
宮浦鉱　製作所　染料
三川鉱　港務所　合成
本所　製煉所　電化

指定店を御利用下さい
直輸入　シンガーミシン
國産特級　ジユーキミシン
〃　三菱ミシン
東壓特約店　三川鑛　港務所　本所　合成　染料　電化　指定店
諸岡ミシン商會
本店　大牟田市役所裏　TEL2803
支店　荒尾市妙見　山門郡中島　TEL119

かやなら近江蚊張
人生の $\frac{1}{3}$ はフトンの中
本場　近江カヤ
だるまわた　三池寝具（銀星北側）
大牟田市有明町本通り　TEL4017

創業20年　信用と技術の店
通産省選定
ラジオサービス店
平和堂無線
ゼネラルラジオ
サンヨーラジオ
マツダラジオ
ナショナルラジオ
ビクターラジオ
五球スーパー完全キツド　三、九五〇円
本店＝駿馬町宮ノ原　電4825番
支店＝上官町二丁目　電4446番